

ホタル考

(5)

それまでは、ホタルの黄淡色の光とその流れに安らぎを感じ、なんとなく優雅な生きものだろうと思いがら眺めてきた。が、ある時、飛翔中のホタルに懐中電灯を向けたことがあった。そこにはトンボのような水平ではなく、垂直に近い体勢で羽を高速に振るわせ飛ぶ姿があった。

ホタルは光るものという感覚だけがあって羽ばたきのことなど考えもしなかった。あの必死とも思える姿を見た時優雅などと形容できない思いがした。

活発に飛ぶのはオスが多く、葉の上で待つメスを見つけたと急降下するといわれ、それを見て昔の人は垂れる火を連想して火垂 火タルとよぶようになったとの説もある。そこは平地でも清流が多くあっただろうから本当のことかもしれない。狭い谷間の日野沢川では、これまでそうした光景を目にしたことはない。孵化したホタルの幼虫は水中生活に入る。成虫になるには三十個ほ

どのカワニナを必要とし、成長に合わせて五、六回脱皮し、さなぎとなり成虫となって飛び出す。成虫となったホタルは水分を摂取するだけで夜を飛翔し産卵する。

幼虫は豊富な餌に恵まれれば翌年には羽化するが、二、三年をかけるものも多いらしい。カワニナの生息状況がホタルの運命を左右する。

ホタルは人気モノだ。あちらこちらに『ホタルの里』が出現している。し、ビジネス化しているとも聞く。

より多くの飛翔数を得るために他地域から幼虫を移入している所も多いらしい。繊細な生き物のホタルやカワニナは地域固有の特徴をもっている、安易な移入は遺伝的攪乱を起すといわれている。昔言であつても止めてほしいものである。

多くの飛翔数を目的にするのではなく、それぞれの水系の生息環境の整備など持続性をめざした方策により、毎年ホタルを鑑賞したいものである。 木・H



また一步 「戦争する国」への軍事研究助成6億→110億 18倍

2017年度の軍事費の当初予算が初めて5兆円を超えました。

防衛省は、大学や公的研究機関・

民間企業を兵器開発に動員する研究助成の予算を、2016年度の6

億円から一気に110億円に増額。

「無人攻撃機」開発も進めると公表。

戦争の反省から禁じてきた武器輸出も、防衛装備移転と名を変え解禁。

そして、9/26から始まった臨時国会。安倍首相の政策を表明する

演説の途中、「我が国の領海・領土・

領空は守り抜く。現場で極度の緊張

感に耐えながら任務に当たっている

海上保安庁・警察・自衛隊の諸君

に心から敬意を表そうではありませ

んか」と賛同を求め、自民党議員

が総立ち・拍手。新人議員には指示

もあったとのこと。

何をやっても大丈夫とおごり高

ぶるアベ首相。党利党略の来年1月

衆議院解散の話も出てきました。

アベ政治は危ない！

知子のひまわり



みなの民報の議会報告を読みました。子ども医療費が高校卒業まで無料になるとですね。うれしく！うちの子、今中学二年で来年から医療費どうしよう？、そうしたら無料になるとあったでしょう。特に歯科は、途中で止めてしまつてもなく、お金もかからないので予約さえすれば治療してもらえます。本当に助かります。お母さん喜んでいきます。「先口、うれしい話を聞きました。

今、埼玉県の中の自治体が子育て支援に取り組み、中学卒業までの医療費無料化、さらにはいくつかの自治体では高校卒業まで無料化に向けて努力しています。ところが、国はこうした自治体の取り組みに窓口無料化を広げれば医療費がかさむなどの言い分で、国の補助金を減らす罰則「まで」行っています。

貧困と格差が大きな問題になるなか、お金の心配がなく子どもが医者にかかれる制度はとても大事なことです。

独自の努力をしている自治体に罰則「まで」行っている国の姿勢はもってのほかです。

戦争法（安保法制）廃止の
国民連合政府を！
野党は選挙協力を！

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい
町議会議員 常山 知子
電話・FAX 62-6733